

地域環境調整工学（3年生後期配当）シラバス

授業科目名：地域環境調整工学 担当者：辻原万規彦 履修学年：3年

主題

環境調整の立場から、私達を取り囲む居住環境を如何に創り出していくかについて、考えていきます。対象は、私達が生活している都市、地域の環境とします。個々の技術や理論も扱いますが、特に全体的な方針や理念について考えていく予定です。

履修上の注意

関連する以下の講義とともに履修することが望ましい。

人間環境健康原論，環境設備原論，環境設備システム学，住環境調整工学

使用教材

講義中に配布するプリント，OHP，スライドなど

参考文献

講義中に紹介します。

成績の評価方法

適宜出題するレポート，定期試験の結果を総合して，評価します。

授業計画

1．地域環境の調整とは？（1～2回）

地域環境調整とは、何かについて概説します。また、講義全体のガイダンスも兼ねます。

2．地域環境と都市設備（2～3回）

都市や周辺地域を支える様々な社会基盤施設や設備について考えます。同時に、様々なレベルでの都市や地域の捉え方についても考え、後に続く講義での枠組みを設定する予定です。

2．都市気候（2～3回）

都市や周辺地域、農村地域などの地域の気候の実態について考えます。気象データの観測、リモートセンシングなどの、地域の気候の実態を把握する方法について解説し、それをを用いて作られるクリマアトラスについて解説する予定です。

3．都市と熱（2～3回）

都市やその周辺環境における熱の制御について考えます。都市におけるエネルギー、ヒートアイランド、緑地による環境負荷低減などのトピックについて解説する予定です。

4．様々な都市環境（3～4回）

都市や地域における河川環境や水環境、まちの色彩と照明など、対象をアーバンデザインにまで広げて、私達の周りの都市環境について考えます。